

第8回： 湖沼・河川の水質保全対策

開催日： 1985年11月13日～14日 / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 水道水のカビ臭、トリハロメタンなど、異臭味や安全性の問題が近年クローズアップされてきました。これらの問題は、いずれも水道水の水源となっている湖沼や河川の水質汚濁に由来しており、各地の水道事業者は水道原水の高度処理を行ったり、水源水質の保全対策を立てるなど様々な方面から取り組んでおります。

このように水道事業は湖沼・河川の水質ときわめて密接な関係を持っており、その水質保全に検討を加える上で最も重要な因子の一つと言えます。そこで、本協会では、「水道」という視点からはどのような湖沼・河川の水質保全対策が望まれるか、また水質汚濁にどのように対応しているか、水道事業者と会員の皆様との情報交換を図るためセミナーを企画しました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 湖沼・河川の水質保全対策（坂本弘道／環境庁・水保局）
- 水道における水質保全対策（山村尊房／厚生省・水環部）
- 水道水源湖沼・河川の水質管理Ⅰ．流域対策（玉井義弘／大阪市水道局）
- 水道水源湖沼・河川の水質管理Ⅱ．湖内対策と取水管理（橋本徳蔵／川崎市水道局）
- 水道原水の高度処理（丹保憲仁／北大・工）
- 西ドイツにおける水源保全対策（国包章一／国公衛院）
- 仙台市における水道原水の異臭味対策（千葉静夫／仙台市水道局）
- 大阪府における水道原水の高度処理（佐藤壯夫／大阪府水道部）
- 千葉県における水道原水の高度処理（常泉裕／千葉県水道局）